

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	77	大学等名	徳山工業高等専門学校
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

### 【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

### 【コメント】

<優れている点>

- ・高専機構モデルコアカリキュラム（MCC）を包含する徳山コアカリキュラム（TCC）の策定を目的とし、3つのポリシーの策定と不断の改善、外部評価体制の確立等を通して、全高専のモデルとなる質保証の取組が目指されている。高等専門学校としての技術的教育に偏ることなく、汎用的能力や倫理観を入学から卒業まで一貫して教育し、それを可視化して評価できるシステムを構築しようとする点で期待できる試みであり、評価できる。
- ・ディプロマ・ポリシーを中心とする3つのポリシーの基本の策定、ワーキンググループの設置、ラーニング・コモンズの設置など、計画が着実に実行されており、教職員のFD・SD活動も活発になされていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・TCCの特徴とされる、“安全・安心志向型”技術者リテラシー教育、グローバル異文化理解教育の具体的内容が見えにくく、今後早急に具体化する必要がある。
- ・必須指標である平成28年度の学生の授業外学修時間（1週間当たり）や、任意の指標の1つであるティーチング・ポートフォリオ作成率の目標達成度が低いことを見ると、本計画が学生並びに教員に対して本当に理解されているのかが懸念される。全校一体となった体制の構築が必要である。
- ・当初計画において、平成28年度に社会系科目教材作成費が予算計上されていたが、実際に作成されていない。教材作成も計画的に行うことが必要である。
- ・PDCAサイクルについては、当初、本事業計画に含まれていなかった「教育改善IR室」が設置され、客観的なエビデンスを提供できる体制が整えられたとはいえ、どのようなエビデンスを基に、どのようにしてPDCAサイクルが回るようになっているのかが十分に説明されていない。そのため、明確化することが必要である。